

今月のイチオシ



いのちの車窓から

星野 源(著)
KADOKAWA

ドラマ「逃げ恥」,「真田丸」,大ヒット曲「恋」など、怒濤のかけ上がりを見せた星野源の面白さと、哲学のすべてを注ぎ込んだ、誠意あふれるエッセイ集。



か「く」「し」「ご」と

住野 よる(著)
新潮社



ホイッパー・ウィル川の伝説

キャシー・アッバウト&アリスン・マギー(著)
あすなる書房



大相撲の解剖図鑑

第三十四代 木村 匠之助(監修),伊藤 勝治(監修)
エクスナレッジ



事例別 病気,けが,緊急事態と危機管理1

五十嵐 哲也 ほか(著)
少年写真新聞社

公民館図書室利用時間

月曜日・金曜日 午前8時30分～午後6時

村公民館図書室の本を紹介します。
このほかにも、たくさん楽しい本が
皆さんを待っていますので、ぜひご利用
ください。



本とハッピー

はばたけ! 昭利村消防団

「消防団活動」



第9分団分団長
石井 孝浩さん

第九分団は、主に中野・大河原・長者久保・追分・赤谷地区を管轄しています。また、赤城山船ヶ鼻登山道にも隣接しており、広範囲にわたり活動しています。現在団員は、20代から40代の37名が所属しており、日頃から防火防災活動に努め、火災・災害発生時には迅速に行動できるように備えています。また、大河原小学校をはじめ地域行事にも参加し、地元の皆さんとの交流も深めています。

最後に、現在第九分団では、平成30年度ポンプ操法競技大会の出場に向けて、練習に励んでおります。つきましては、消防団員のご家族様をはじめ地元の皆様、さらには昭和村の皆様にご迷惑をおかけしますが、何とぞご了承くださいますようお願いいたします。

応援よろしくお願ひします。

地域包括支援センターだより

実践！介護予防 みんなで楽しくらくらく筋トレ体操♪

今月は『レタスサロン』を紹介します。

- 場所 大河原住民センター
- 日時 毎週(火) 午後2:00～

☆ここが私たちの魅力☆

- お茶の時間の豪華な料理が一番の自慢!愛情たっぷりの手作り料理がテーブルにたくさん並ぶ。「みんな料理人」「いつもとってもおいしい」と絶賛の声。おいしい料理に会話も弾み、楽しい時間を過ごしている。
- 筋トレ体操は重りをつけて2回行い、健口体操にもしっかりと取り組んでいる。筋トレ体操中には、お互いに近況報告しあっている。「口の体操も兼ねてるから」と笑いあい、体操中も明るい声が響く。
- レタスサロンの「レタス」は、朝採りレタスが盛んな地域だからとのこと。

みんなの声

・まじめにやっている・転んだという話を誰からも聞かない・みんなに会えると楽しい・手作り料理がおいしい・お茶の時間が好き・もっと集まってくれるといいなあなど



「毎回楽しいです♪」と笑顔の皆さん

地域包括支援センターはサロンを応援しています!

ふるさと昭和 ～歴史を訪ねて～

第63回

林 貞次郎翁

昭和村ボランティアガイドの会
事務局長 島田 民夫

本村の、明治時代以降に活躍した人物は、広報でも紹介してきましたが、まだ多くの優れた人物がいます。今回は、旧赤城根村生越の林貞次郎翁を紹介しします。左の写真は旧生越分校跡の記念碑です。



貞次郎翁は、天保十一年（二八四〇）に林惣左衛門の次男として生まれ、近くに居を構え、當住と村人は呼んでいる。後、翁は長女しま女と別に住み、隠居と言われ二家は現存し今日まで続いている。

翁は自信と勇氣に溢れ、光明正大、事にあたるは大胆にして、寛容終始奉公の誠を尽し、私心も野心も抱かず、人民村民のための新しい事業に、情熱を燃やし続けた。

その先進的な足跡の幾つかをひもといてみましょう。

翁は、耕地の拡張とその周辺道路の整備、ひいては郷土の発展を念頭に意を注いだ。

養蚕の桑木栽培の研究、特に蚕種の改良には全国に先駆け本県多野郡、信州に向向いて改良に取り組んでいる。

更に製糸業にも目を向け、明治のはじめに沼田製糸合資会社を立ち上げ、推されて社長に就任。これは郡内機械製糸業の最初である。

また、跡継ぎの助次郎氏と馬の改良増殖に取組、青森県七戸に牡馬数十頭を求め帰り、明治二十五年同志と協議、根利牧場や二本楢牧場を開場し、社長に就任している。

最終的に実現を見なかったが、水の乏しい故郷の赤城大地を潤そうと、赤城大沼の水を活用した壮大な計画を立案し、県に提出している。

翁は、また農業振興だけでなく学校教育・社会教育にも力を発揮し、人づくりに大きな功績を残している。これらの業績が国等に認められ、賞を受けた。八十二歳の生涯であった。

参照 わが赤城根村

「地元に戻ってきた」

私は高校卒業後、神奈川にある農大へ進学し、四年間一人暮らしをしたのち、家業の農業をするため地元昭和村へ帰ってきました。

大学ではもちろん、農学を専攻していましたが、いざ実際にやろうとなるとなかなか勝手が分かりません。先に家に入った周りの同級生や先輩、後輩はもうベテランの様に見え、自分の未熟さに気付かされ、同時に経験がものを言う仕事だなど思い知らされました。

また、いざ帰ってきてみると中学高校で一緒に卓球をしてきた仲間が大勢残っており、当時のように楽しく卓球ができるだけで、とても幸せだと思っています。

帰ってきて早くも一年が経ち、仕事もワンシーズンを終えましたが、朝が弱いということもあり正直しんどかったです。でも、小さい頃から一緒だった畑仕事は嫌になることはありません。昭和村は卓球も農業も盛んな村です。どちらも未永く続けていき、村を盛り上げていきたいと思っています。

今回の登場者は、林 宏幸さん(22歳・池原)です。



はっらっ トーク



竹之内 大輝さん
(23歳・伏田)

次回登場者紹介

中学校からの仲の良い友人です。また飲みに行きましょう！